

平成26年8月

県連盟便り

滋賀県ダンススポーツ連盟
理事長 伊藤 康雅

滋賀県は、来年（平成27年）県連盟設立30周年を迎えます。
今、その記念事業を行うため、実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。
県連盟としては、全国でも早い設立だと思えます。

設立当初は、ご苦労も多かったと思いますが、先輩諸氏の努力によって、
現在まで進めてまいりました。
いち早く、技術認定制度や、県内の競技会を開始し、現在のJDSF技術認定や、
競技会に移行してきました。

現在、県下に25の加盟サークルがありますが、例年の連盟主催のダンスフェスタには、
多くの参加者と、フォーメーションが展開されています。
まだまだ、県連盟の目標としては、会員を増やし、ダンスの普及に尽力する必要があります
が、会員の結束に関しては、大変強固なものがあると感じています。

今年のねんりんピック（栃木大会）には、団体戦（4組）の出場、また都道府県対抗戦（長
崎大会）には、団体戦（8組）の出場メンバーが決定しました。
県連盟からの補助金も充分とは言えませんが、積極的に出場してくれる会員には、心から感
謝をしています。

これから、合同の練習会等も予定をしていますが、精一杯実力を出し切ってくれることを、
期待しています。また、DSC会員も増え、競技会での活躍も増えてきました。
この、DSC会員の結束も強化してゆく必要を感じています。県連盟の活動にも係って頂き、
後輩を育ててゆき、ダンスの普及に尽力していただければ、これからの発展も夢ではありま
せん。

ダンススポーツが、本当に多くの人に理解していただき、生涯スポーツとして、定着する
ことを願っております。

30周年を節目として、JDSF会員の結束により、技術の向上と、生涯スポーツの推進を
目指して、今後とも努力を重ねてまいります。

皆様のご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。